

挨拶【雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業】間倉地区堤防完成式



さたけ のりひさ
■佐竹 敬久 秋田県知事 祝辞
ほりい けいいち
代理 堀井 啓一 秋田県副知事

一昨年の7月の豪雨では、秋田市雄和地域においても昭和22年以来の大出水であり、大仙市から秋田市の雄和地区では大変な被害が発生しましたことを踏まえ、激特事業として進めることになり、そしておかげさまで今日この、間倉地区がその最初の完成ということで、関係の皆様にご心から感謝申し上げます。秋田県でも、櫛岡川・土買川・淀川等整備を一生懸命頑張っており、整備が滞りなく完成できますように、私どもも頑張っております。ハードの整備はもちろん頑張りますが、今回の台風19号のように、それを上回る大雨は、なかなか防ぐことができない場合もあります。避難、あるいは防災活動につきまして、日ごろから訓練を重ねる対策を、住民の方々がまとまって結束してやっていただきたいと思います。



かなや みちお
■金谷 道男 大仙市議会議長 祝辞

市民待望の間倉地区堤防の完成式を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。堤防の未整備区間であったこの地区を整備することが住民の長年の念願でありましたが、堤防が完成したことでこれまでの浸水被害が大幅に軽減されることを期待しています。この地区以外の築堤工事もお聞きしておりますので、今後とも各事業を計画的に進められ、河川域の住民が自然と安心して暮らせるよう、整備と管理の推進をお願い申し上げます。市議会といたしましても、市当局とともに災害に強いまちづくりを目指し、ハード・ソフト両面について努力をしております。



みのりかわ のぶひで
■御法川 信英 国土交通副大臣 挨拶

我が国は自然災害に対して極めて脆弱な国土条件にあり、毎年のように全国各地で洪水被害が発生し、水害の頻発化・激甚化が懸念されております。社会全体で洪水に備えるハード・ソフト対策を一体的に進める「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取組推進、「国土強靱化に向けた3か年緊急対策」への着手と、更に今後、台風第19号を踏まえた対応も進めていく必要があります。雄物川では、平成29年7月豪雨の被害を踏まえ、「激甚災害対策特別緊急事業」を採択し堤防整備等を進めており、間倉地区では、今回の築堤工事完成で長年の懸案が解消されました。私はこの完成した堤防が、地域の皆様にとって安全・安心な暮らしと、産業・経済活動に安定をもたらすものと確信しています。国土交通省は、今後も防災・減災対策を強力に推進して参ります。



おいまつ ひろゆき
■老松 博行 大仙市長 挨拶

本日ここに、雄物川激特事業間倉地区堤防の完成式を迎えることができました。本事業に携わっていただいた全ての皆様方に、地元大仙市を代表いたしまして心から感謝を申し上げます。平成29年7月・8月の記録的な豪雨によりまして、雄物川が氾濫して多くの被害が発生し、一昨年9月、国土交通省から発災から僅か2カ月後に激特事業採択が発表され、概ね5年間で集中的に雄物川中下流部の河川整備を行っていただくこととなりました。そして本日、間倉地区の約400mに及ぶ強固な堤防の完成を迎えることができ、我々流域の住民の喜びは大変大きく、深く感謝を申し上げます。安全安心確保のための対策に万全ということはありません。いっどこで起こるか分からない災害から人命を守るためには、ハード対策とソフト対策を車の両輪のように行っていく必要があります。今後も災害に強いまちづくりを行政や市民の皆様、そして関係の皆様と共に取り組んで参りたいので引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



さいとう つよし
■齊藤 劭 神岡地区自治会連合会会長 期待の言葉

間倉堤防完成式、ありがとうございます。様々な災害、私どもの経験の無かったような災害が、日本各地で毎年のように、多発しております。激特事業全体は、完成が令和4年なのに、最初にこの間倉地区の無堤防を解消していただいた事は、住民一同心から感謝申し上げます。これからは少しゆっくり休める安心して暮らせる幸せな時間を、迎えられるのではないかと考えております。ただ、想像を超える甚大な災害では、越水し、堤防が破壊される場合もあります。官民一体となり、いざという時に命を守る、その訓練を重ねて、安心安全な街づくりのために貢献していきたいと考えています。



たかはし ゆな
■高橋 結愛 平和中学校2年生 期待の言葉

今、日本では台風で大きな水害が起こり、たくさんの被害を受けています。2年前の洪水では、私たちの住む神岡地域でも、浸水被害を受け、私たちの平和中学校が避難所となりました。その時の水害は、私たちの記憶に深く刻みこまれる出来事となりました。私たちは防災学習で、雄物川が、今までに何度も何度も大雨で氾濫し、多くの家屋が被害を受けてきたことを知りました。しかし、ついにこの間倉地区にも堤防が完成し、不安が解消され、私たちが安心して生活ができるようになります。私はこのような災害に強い街で暮らせることを嬉しく思います。そしてこの素晴らしい堤防の工事に、ご尽力していただいた方々に感謝申し上げます。